



Official TEST Report 2018/3/12～13 SUZUKA 1st Official test

国内モータースポーツシーズンの幕開けを告げる恒例のイベント「モータースポーツファン感謝デー」は、3月10～11日に開催され、シーズンスタートを待ちわびた多くのファンで大盛況となった。

ファン感謝デーでのテストランやデモレースを含め、鈴鹿で連続3日間という開幕前の貴重なテスト機会となった第1回目公式テスト。DOCOMO TEAM DANDELION RACINGは、今期よりカーナンバーを「5」と「6」に変更。5年目を迎えた野尻選手に加え、昨年までヨーロッパでFIA F2選手権を3シーズン戦い、大きく成長を遂げて日本に戻ってきた松下信治をチームに迎え、強力な布陣で2018シーズンに臨む。

公式テスト1日目、春を感じさせる暖かさながら、メインストレート、バックストレートでは強い追い風が吹くコンディション。新スペックソフトタイヤ、新たなセットアップなど、常にトップ5の順位を維持しながらメニューを消化してゆく。セッション終盤の予選シミュレーションでは、オーバーテイクシステムを使っていない陣営のトップ1-2と好発進で公式テスト1日目が終わった。

公式テスト2日目、気温はさらに上がり風も止んだ春の好天の中、両ドライバーは、セットアップやスタート練習、ロングランなど、テストメニューを精力的に消化。午前のセッションを、ルーキーながら2番手で終えた松下選手は、午後のセッションを1位で終え高い順応を見せた。野尻選手は昨シーズンの課題に対して多くのテストメニューを消化しデータを収集。良い部分、悪い部分、新たな課題も得、有意義なテストを終えた。

5：野尻智紀 選手 総合6位（ホンダ勢2位）

2日間通して様々なメニューを消化できました。初日の感触は非常に良く、2日目は路面コンディション悪い中でのセットアップを多くトライすることが出来ました。

ヨーロッパ帰りの松下選手ともいい意味でのライバル関係が築けましたし、セットアップの違いもありますので、私自身も様々なアイデアを提示しながら、チームとともに検証して第2回公式テスト富士に向けて準備します。

6：松下信治 選手 総合5位（ホンダ勢1位）

新たな挑戦の中、自分の課題に集中し、様々なセットアップを確認でき、とても前向きなテストとなりました。2日目を首位で終われたのは良かったですし、ダンディライアンの総合力も予想通りでした。次のテストが行われる富士スピードウェイは、鈴鹿とは違った特徴を持つコースなので、テスト結果を、野尻選手とチームとともに解析し、気持ちをリセットして臨みます。